

超音波診断装置 2 台
貸借仕様書

沖縄県立中部病院

1. 調達機器 超音波画像診断装置 2 台
(その他付属品、搬入、据付、調整等を含む)
2. 契約期間 令和 6 年 10 月 1 日～令和 11 年 9 月 30 日
3. 設置場所 沖縄県立中部病院 周産期センター
4. 一般条項
 - 4.1 機器設置に係る対応をはじめ、搬入・据付・配線など工事費・調整費の全ての費用は受注者が負担すること。
 - 4.2 機器設置に係る対応をはじめ、搬入・据付・配線等については当院の職員と協議の上、その指示に従うこと。
 - 4.3 作業は、納期、作業期間の日程を当院の職員と事前に打ち合わせし、その日程に従い完了すること。
 - 4.4 受注者は納品前に現地下見を病院担当者立会のもと行い、問題が生じる可能性がある場合には、その旨を病院担当者に報告し、設備対応すること。
 - 4.5 機器の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は納入業者の負担で行うこと。
 - 4.6 搬入・据付時に建物および物品に損傷が起きた場合、受注者が責任を持って現状復帰すること。
 - 4.7 試運転・調整・確認・機器清掃終了後に引き渡しされること。
 - 4.8 機器設置においては通常業務に支障のないように行うこと。
5. 構成内容
 - 1) 超音波画像診断装置 2 台
6. 超音波診断装置本体ー①
 - 6.1. 装置本体の概要に関し、以下の特徴を持つ。
 - 6.1.1 フット幅 495mm、奥行き 685mm、高さ 1345-1595mm 以下である。
 - 6.1.2 重量は記録機器を含まず約 67kg 以下である。
 - 6.1.3 最大電圧は周辺機器を含んでも 500VA 以下である。
 - 6.1.4 走査は電子セクタ、電子コンベックス、電子リニア、電子マイクロコンベックス走査方式に対応している。
 - 6.1.5 フラグシップモデルのプロープコネクターである DLP プロープポートを 1 つ有する。
 - 6.1.6 スイールロック機能を持つダブルホイールに対応している。
 - 6.1.7 本体内蔵型のゲルウォーマーを採用している。
 - 6.1.8 TGC はデジタル方式を採用しており、検査カテゴリーごとに 3 種類の TGC ラインを保存することが可能である。また TGC は 8 段階の設定が可能である。
 - 6.1.9 操作パネル上には 36 個のハードキーが配置され、ボタンの数が極めて少なくシンプルな設計である。
 - 6.1.10 観察用モニターは 23.8 インチ以上でかつ高精細 LCD ワイドモニターを採用している。
 - 6.1.11 バーコードリーダーを介した患者情報の登録が可能である。
 - 6.1.12 メニューボタンや患者登録ページ、警告メッセージは日本語対応していること。
 - 6.1.13 ユーザーが頻繁に使用するプリセットのみを一つのカテゴリ内にまとめて表示することができる機能。

- 6.1.14 DICOM3.0 に準拠しており、Verify / Print / Store / MPPS / Public SR Template/Modality Worklist / Query / Retrieve / Storage Commitment /XML / Insite に対応している。
- 6.1.15 本体は 500GB 以上のハードディスクを持ち、画像保存領域は 345GB 以上である。
- 6.1.16 リアルタイム画像はもちろんフリーズされた画像また保存された B モード画像を呼び出し、ゲイン、グレースケール、TGC、フレームアベレージ、ダイナミックレンジ、スペckルノイズ低減機能 (SRI-HD) の再調整、ズーム、計測、M モード/アナトミカル M モードの構築などが可能である。
- 6.1.17 リアルタイム画像はもちろんフリーズされた画像また保存されたカラー Doppler モード画像を呼び出し、カラーゲイン、カラーマップ、透明度マップ、
- 6.1.18 リアルタイム画像はもちろんフリーズされた画像また保存されたパルス Doppler/連続波 Doppler 画像を呼び出し、ゲイン、マップ、ベースライン、スイープ速度、リジェクション、コンプレッション (ダイナミックレンジ類似)、角度補正などの調整が可能である。

7. プローブ-①

- 7.1. 腹部用コンベックスは以下を満たす。
 - 7.1.1. 腹部用コンベックスは以下を満たす。
 - 7.1.2. 周波数帯域は 1.0~6.0MHz 以上である。
 - 7.1.3. 視野角は、70 度以上である。
- 7.2. 手術用リニアプローブは以下を満たす。
 - 7.2.1 周波数帯域は 2.0 ~9.0 MHz 以上である。
 - 7.2.2 視野幅は、38mm 以上である。
- 7.3. 体腔内マイクロコンベックスは以下を満たす。
 - 7.3.1 周波数帯域は 2.0 ~ 11.0MHz 以上である。
 - 7.3.2 視野角は、168 度以上である。

8. 記録装置-①

- 8.1. 白黒プリンターの仕様は以下を満たす。
 - 8.1.1 印刷方式は感熱記録方式である。
 - 8.1.2 階調は 256 階調以上である。
 - 8.1.3 本体パネルから操作可能である。

9. 超音波診断装置本体-②

- 9.1. 装置本体の概要に関し、以下の特徴を持っています。
 - 9.1.1 本体寸法は横幅 420mm、奥行き 670mm 以内である。
 - 9.1.2 本体重量は移動を考慮し 65kg 以下である。
 - 9.1.3 15 秒で立ち上がりスキャン可能になる Sleep モードを有する。
 - 9.1.4 エルゴノミクスを考慮し装置側面に電子系プローブ接続コネクタを 3 個以上備えている。
 - 9.1.5 観察用モニターは LED タイプの 17 インチ以上で解像度は 1280x1024 以上であり、操作パネルを明るくするタスクランプと音声録音用マイク内蔵である。
 - 9.1.6 走査方式は電子コンベックス走査、電子リニア走査、電子セクタ走査、メカニカルボリュームスイープ方式を有する。
 - 9.1.7 コンベックス・マイクロコンベックス 4D ボリュームプローブが接続可能である。

- 9.1.8 Bモード、Mモード、PW ドプラモード、CFMモード、PDモード、HD-Flowモードを有する。HD-Flowモードは高感度ではみ出しを抑えた血流表示方向を表示可能なパワードプラである。
- 9.1.9 産科計測項目であるBPD、AC、HC、HL、FL、大槽径、側脳室径、小脳径を自動計測する機能を有する。
- 9.1.10 Mモード、PW ドプラモードでFHRのキャリパを自動でセットする機能を有する。
- 9.1.11 DICOM 3.0に準拠したデータ通信機能を有する。
- 9.1.12 プローブの素子に問題がないかをチェックする機能を有す。
- 9.1.13 画像をJPEG/BMP/TIFF/AVI/MP4/DICOM形式で保存可能である。
- 9.1.14 本体からeMailを使ってイメージを送信する機能を有する。
- 9.1.15 HDD 画像保存容量は450GB以上を有する。

10. プローブ-②

- 10.1. 2D経腹プローブに関し、以下の仕様を満たします。
 - 10.1.1 周波数は2.0MHz～5.0MHzの範囲以上である。
 - 10.1.2 ハーモニックイメージング対応である。
 - 10.1.3 視野角は81°以上である。

- 10.2. 2D経腹プローブに関し、以下の仕様を満たします。
 - 10.2.1 周波数は2.9MHz～9.7MHzの範囲以上である。
 - 10.2.2 ハーモニックイメージング対応である。
 - 10.2.3 視野角は181°以上である。

11. 記録機器-②

- 11.1. 白黒プリンタに関し、以下の仕様を満たします。
 - 11.1.1 印刷方式は感熱記録方式である。
 - 11.1.2 256階調以上である。
 - 11.1.3 デジタル式USB接続である。
 - 11.1.4 本体パネルから操作可能である。

12. 周辺機器-②

- 12.1 周辺機器に関し、以下の仕様を満たします。
 - 12.1.1 バーコードリーダーを有する。

以上